



【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

03-3451-2586

E-MAIL : syakai@jam-union.or.jp

健保法等改正法案、参院厚生労働委員会で本格審議始まる

野党・総理を厳しく追及

健保法等改正法案は、審議の場を参議院に移しました。6月25日、参議院厚生労働委員会で趣旨説明が行われ、本格的な審議が始まりました。

7月2日、参院・厚生労働委員会で野党が小泉総理へ質問を行いました。野党委員は、医療制度改革が出来なかった理由、負担増や診療報酬改定によってどの程度国民に影響がどのかの質問をしました。また、総理が日本医師連盟から政治献金を受けていることについて、公的医療保険から収入を得ている製薬会社や医療関係団体からの政治献金は禁止すべきで、総理自らが献金を断るべきだと厳しく追及しました。

これに対して総理は、開き直り・なげやりな答弁を繰り返し、国民に負担増をお願いするという真摯な態度が全くありませんでした。

小泉総理答弁要旨

1. 負担増について

Q：診療報酬改定や負担増による影響、負担増の総額はどの程度か？

A：医療費の負担増だけで経済が冷え込むことはない。中長期的に国民経済全体にプラスになる。

Q：「痛み」の具体的な数値は？

A：それは事務方が説明する。

Q：事務方ではなく総理自身が答弁してほしい。

A：2割から3割になるということだ。

Q：自分のとった政策について、具体的な数値も確認していないのは無責任。国民経済にプラスになるというのなら、試算を委員会に示すべきだ。

2. 改革に手をつけなかったことについて

医療制度は複雑で関係者が多い。関係者の反対がないように穏やかにまとめようとしたため、一部の反対意見に引きずられて改革が遅れてきた。

3. 政治献金について

私は、(診療報酬マイナス改定等)医療団体のいやがることをやっているのだから、政治献金の影響を受けていない証拠。

<日本医師連盟(日本医師会の政治団体)から
小泉総理への献金額>

98年	1320万円
99年	1720万円
2000年	1600万円

こんな法案は廃案へ！！

健保法等改正法案は、衆議院では可決されましたが、まだ成立してしまっただけではありません。連合・野党4党は、継続審議 廃案という決意を示しています。また、JAM組織内国会議員の今泉議員と準組織内議員の辻議員の両名

は、参院・厚生労働委員会のメンバーです。2 人の今後の活躍に期待しましょう！！